

健康福祉の向上めざす

二組中心に健康保険組合を設立準備

理事会で新年度発足を定める

岐阜県プラスチック工業組合は、中小企業労務改善集団の指定を受け、雇用環境の改善や福祉活動の充実と取り組んでいるが、この事業と並行し、プラスチック業界に働く従業員の健康福祉対策として『健康保険組合』の設立と取り組み始めた。この健康保険は政府管掌の社会保険や国民健康保険とは異なり、県内プラスチック業界が共同で大企業が行うのと同じような健康保険組合をつくるもの。すでに理事会では新年度にも設立発足の方針を決め、県保険課の指導を受けるなど具体的な準備に入ったが、健康福祉の向上を図る大きなキメ手になるだけに強い関心を呼んでいる。

国の認可を受けて設立する公法人組織

健康保険事業はもともと政府が行う事業であるが、健康保険組合はそれを政府に代って行うために設けられた制度。この健康保険組合には大企業が単独でつくる「単一組合」と同種同業の事業所が集ってつくる「総合組合」の二種類があり、いづれ

も国の認可をうけて設立が許される。このため健康保険組合は厚生省の厳重な指導、監督を受ける反面、いろいろな行政上の権限と機能が与えられている。したがって健康保険組合は公法人組織として、協同組合や商工組合など業界の組合とは全く違った性格をもっている。

保険組合は1県に1業種が認可

「総合組合」の設立単位は、一都道府県に一業種とされており、工業組合が中心になって設



健康保険組合の設立を解説するパンフレット

立準備する健康保険組合は、公法人として県内におけるプラスチック製品の製造加工に関係のある事業所とそこに働く従業員を対象に設立準備を進めるものである。

健康保険組合の設立は、法令、組合規約などの定めにしたがって進められ、加入した組合員によって民主的に運営される。このため工業組合とは別に、健康保険組合の組織と日常業務を執行する事務局が新しくつくられ、事業主や被保険者の健康保険業務のすべてを行っていく。

プラスチック関係3千人で組織

県内プラスチック業界だけで設立準備する健康保険組合は、被保険者の参加が3千人以上加入することが最大の条件となっている。当工業組合の組合員企業には、すでに3千人近い対象被保険者がおり、これを中心として員外者に呼びかければ(すでに多数の希望が寄せられてい

る)設立要件を満たすことができる。

大企業が運営する単一組合とはやや異なった総合組合形式の健康保険組合は、全国で272組合ほどあり、その被保険者数は約343万人にのぼる。

岐阜県下の総合組合は6組合、被保険者数は約3万2千人で、いずれも健康福祉の向上に活発な活動を展開している。

健康保険組合の利点 附加給付や施設の建設も

工組が設立準備する健康保険組合は、保険料(現行の政府健保を上回らない)とその他の収入をもとにして、死亡、お産育児手当などの上積支給したり、健康を守るための健康診断や各種のスポーツ大会、レクリエーションなどを積極的に実施し、政府健保に見られない多彩な事業を行っていくことになる。

とくに政府健保より有利な点は疾病の予防や体育の奨励、保健施設の利用をすることができるので、恩恵は計りしれない。

ここで政府健保と設立準備する健康保険組合は次のような多くの利点をもっている。

①組合の経営は組合員が直接参加する組織になっており、運営は自主的、民主的である。

②組合の設立は一定の(3,000人以上)の適正な被保険者数について認められるので、政府健保とは比較にならない綿密な手の届いた管理運営ができる。

③組合という保険方式から「自分たちの組合」ということで、組合員も経営に責任をもち、事業主とともに積極的な協力がえられる。

④組合は被保険者の日常生活の実態に即した保健対策が実施できるとともに、組合員一人一人の健康管理を効果的に行うことができる。

⑤事業体の性質に応じ、病院、診療所などの

医療機関の経営、体育館、運動場、保養所など健康増進のための保健施設も、組合の自主的な決定で建設することができる。

⑥組合財政の規模と余裕の度合に応じ、政府健保ではできない各種の附加給付を実施し、給付水準を高めることも可能である。

⑦組合員への広報活動の徹底、その他のサービスがいきとどき、事務、給付手続き、支給などが迅速に行われる。

⑧組合の保険料率や事業主と被保険者の負担割合は自主的に決め、被保険者の負担を軽くすることができる。

運営は組合会と理事会が当たる

健康保険組合設立後の運営は、事業主と従業員によって運営していく。そのため組合の意思を決定する機関として組合会を設け、それを執行するための機関として理事会を設ける。また組合事務の運営は常務理事と検査委員が当たっていく。常務理事のもとに事務局が組織され、具体的な事務処理を行うことになる。

この他、当工業組合が設立準備する健康保険組合の名称、被保険者予定数、同事業所数、財政規模、保険料、保険給付、附加給付などの詳細については次号で紹介する。

近代化進み汎用樹脂は安い

工組青年部が台湾研修旅行 デザインは日本とそっくり

当工業組合の青年部は『台湾の経済事情視察の旅』を実施した。

この研修旅行は台中市工業会顧問である栗田三喜男氏の協力で実現したもので、青年部会の加藤法康さんを団長に10人が参加した。

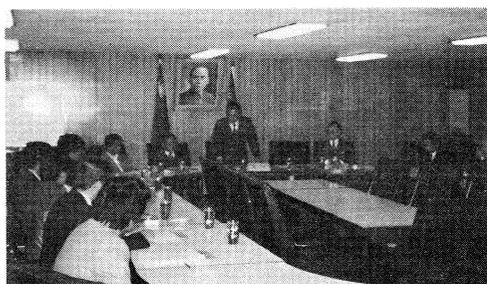
一行は2月10日午前11時の名古屋空港発、日本アジア航空で台北へ向い、3泊4日間のスケジュールで台湾プラスチック業界代表との懇談やプラスチック成形工場を視察し、同13日夜帰岐した。

成形工場は約1,300工場もある

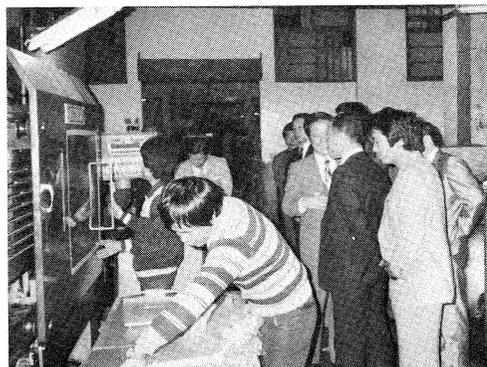
台湾業界との懇談は、台湾区プラスチック工業同業公會の許福進常務理事ら七人の業界代表

と懇談した。許常務理事は席上で「台湾は発展途上国とはいえプラスチック工業の近代化が進み、現在1,300工場もあり、技術水準は日本のレベルに近いと思う。とくに化学工場が各地に建設され、汎用樹脂原料は安いので日本側で買ってほしい」と要請した。

工場見学は台湾を代表する成形工場といわれる華孚工業股份有限公司。大型、中型の成形機がずらりと並び、大中小各種のコンテナや運搬箱、電気部品が量産されていた。とくにコンテナ類のデザインは日本製品とそっくりであった。成形機は東芝製がめだち、塗装など成形後の二次加工を本格的に実施していた。



台湾工業会の代表と業界の動向で懇談



成形工場を見学する工組青年部の一行



見学した華孚成形工場の前で一同は記念撮影



台湾の視察旅行で資料を入手

台湾の経済事情視察と親睦旅行で訪台した工業組合青年部の一行は、台湾プラスチック製品工業同業公會が発刊する業界誌『塑膠工業』（写真上）や工場視察した華孚工業股份有限公司の会社概況、同社の製品カタログなどを入手、資料として組合で保管することにした。

業界誌『塑膠工業』は、わが国でプラスチック工業連盟が毎月出版しているプラスチックとそっくりのデザインや広告の方法をとっている。しかし、印刷や編集方法はプラスチックと段違い。入手したのは今年の6月号と12月号で、表紙にはデュポン社のエンブラ『デルリン』が紹介されているところはなかなかのレベルである。なお、塑膠とはプラスチックのこと。

工場見学と志摩観光

組合員の研修親睦旅行

工場は本田と三菱油化

工業組合が恒例行事としていた組合員の研修親睦旅行は、3月6.7の1泊2日間、三重県の伊勢・志摩地方を訪ねた。

研修旅行参加者一行は、初日に伊勢神宮（外宮、内宮）を特別参拝したあと志摩半島の浜島で海の幸を味わった。2日目は帰路につき、本田技研の鈴鹿製作所、三菱油化の四日市事業所



と樹脂研究所を視察した。とくに三菱油化の樹脂製造プラントや樹脂研究所の視察は、成形事業と直接関係するだけに興味深く見学した。

（写真は、三菱油化の四日市事業所で樹脂製造プラントの説明を聞く組合員）

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタクリルシート

スミペックス®

メタクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

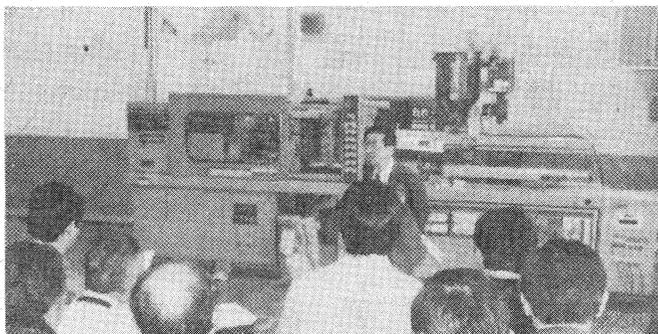
電話 <052> 201-7571

中小企業事業団が普及説明会を開く 低圧射出成形機を開発

中小企業事業団は技術開発事業の一環として昭和56年度からプラスチック射出成形加工業を対象とした低圧射出成形機の開発を行ってきたが、このほど開発に成功し、東京と大阪で公開普及説明会を開催した。

プラスチック射出成形加工業では、近年の消費者ニーズの多様化に伴い、多品種少量生産に対応できる射出成形機の開発を要望していた。事業団はこれに応えて東芝機械に設計及び試作を、また、運転研究をプラスチック技術振興センターに委託し、開発を行ってきた。

この成果は①成形品サイズは同一の射出圧力、形縮力で3倍程度の大きさまで成形が可能なた



中小企業事業団が開いた低圧射出成形機の説明会

と②簡易金型の使用による金型製作コストの半減が可能なことなどにより、成形個数が1万個程度以下のものについては1～2割程度のコストダウンが期待できる一など、プラスチック射出成形加工品の多様化への道を切り開くものとして注目されている。

『活用してよかった』

中小企業のコンピュータ実態調査 導入意欲もかなり高い

商工中金がまとめた「中小企業のコンピュータ活用実態調査」によると、活用企業の8割が省力化、業務の標準化を進めてゆく上で「活用してよかった」と評価している。しかし、一方で「経営情報の充実」「顧客サービスの向上」といった面への使われ方が「不十分だ」とする企業も4割あり、コンピュータを使った高度で効率的な経営システムづくりが今後の課題となっていることがわかった。

また、調査でコンピュータの活用率をみると商工中金の取引先企業の61.7%が活用中で、未活用企業も4割が向こう3年以内に「活用し

たい」とし、コンピュータ導入意欲は高い。

省力化や効率化では高い評価

コンピュータ活用の評価では、活用目的別で省力化、生産の効率化・事務処理の適正化、業務の標準化などについて8割の企業が高い評価をしている。この半面、経営情報の充実、在庫品・仕掛り品の適正化、顧客サービスの向上という点では4割が不十分だとしている。

こうした状況を反映して、コンピュータ活用企業で利用機種の増設・代替えを考えているところが3割、適用業務の拡大を志向するところが5割となっており、中小企業はコンピュータをいかに高度に活用するかが、経営上の大きな課題となっていることがわかった。

○産業分類のプラ製造が格上げ○

日本標準産業分類の改訂が官報の59年1月10日号外1号で告示（行政管理庁告示第2号）され、プラスチック製品製造業が中分類に格上げされた。標準産業分類の改訂は8年ぶり、産業構造の変化に合わせて告示されたもので、施行は60年4月1日からとなる。

プラスチック製品製造業は、これまで中分類ではその他に含まれ、前回の改訂後、プラスチック業界の各種団体は関係官庁に格上げの要望を行ってきた。この結果、単独で中分類（22）に格上げが実現した。これで統計面での把握範囲が正確となり、メリットが期待される。

○三菱油化、高密度ポリを休止○

三菱油化は代表的な合成樹脂である高密度ポリエチレンの生産を四月から全面休止する方針を固めた。内容は、四日市工場にある年産能力3万6千トンの生産設備を処理し、三菱化成工業、昭和電工、旭化成工業の3社に生産委託するというもの。

石化業界では特定産業構造改善臨時措置法に基づいてエチレン、ポリエチレンの過剰設備処

理（廃棄・休止）を進めているが、主力製品の設備をまるまる止めるのは初めてのケース。これによって同社は低密度ポリエチレンなどの得意分野の生産に重点を移していくという。

○汎用4樹脂の出荷は持ち直す○

通産省基礎産業局は、汎用4樹脂の58年1年間の需要部門別出荷実績をまとめた。

それによると総出荷実績は低密度ポリエチレンが97万5,959トン、高密度ポリエチレン69万50トン、ポリプロピレン106万3,276トン、ポリスチレンが57万9,927トン。国内向けはいずれの樹脂も下期の需要回復を反映して前年を上回っており、なかでもポリプロピレンの伸びの大きさがめだっている。これは通年、家電や自動車向け射出成形品種が好調であったため。

○射出成形のサーボモーター化○

射出成形機の駆動源を従来の油圧から電動サーボモーターに切り替える動きが活発である。精密制御やコストダウンを狙ったもので、成形機メーカーの日精樹脂工業はじめ、ファナック、東芝機械、山城精機などが新機種の生産と取り組み、5月のジャパンプラスで発表する。

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式會社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号（新名古屋ビル東館5階）
電話（052）581-1581代

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

「外さん」マーケットへの着目

いま、家庭主婦のあいだでささやかれている言葉に「外さん」というのがある。これは「奥さん」の対意語であって、言い方を換えるならば、パートタイマーに出たり、文化教室に通ったり、隣近所の人たちとの交際を強くしたり、PTAや地元婦人会の役員になったりなど、家庭外活動の多い主婦をいい、最近とみに増えているという。

この「外さん」急増が、生活の安定、自由裁量時間の増加、主婦の高学歴化、モノ離れ性向の高まり、文化的な生活レベルアップへの意欲の高まりなどにあるのはいうまでもないが、消費行動にも当然のことながら新たな行動を示す要因となっている。

主婦層はもともとクチコミ浸透度が強いものであるが、「外さん」の多彩な生活情報はこれに拍車をかけ、質量ともに拡充させ、どんな新製品さえもたちまちその使用体験が交流され、もしそれが不評であれば、せっかくの新商品もボイコットに近いダメージをうけることになる。

逆に、その新製品がハイクオリティーな、良

心的なものであると評価されたなら、多少の距離・金額を問わず、マイカーを駆ってグループで買いに行くといった行動を示すのである。

「外さん」の主流年層は、30代後半から40代。つまり子育てを終え、料理など家事の「ノウハウ」をすでに習得し終えた人たちであるとともに、経済的にも一応の安定を得ている層であり、パートタイマーにでている人も、いわば可処分所得の増を目的としている人が目立っている。

このような層にうけたものは、冷凍食品やインスタント食品、あるいは半製品食品、そしてワンストップ・バーゲン（一ヶ所ですべての生活関連商品をバーゲンする）があるが、すべて「外さん」の家事、ショッピングタイムの節約につながっているものである。

さて、問題は、我々プラスチック業界の新製品開発に、どのように受け入れ、製品の中に表示するかである。

つまり、企画と設計ということになるが、具体的には、企業毎にあるいは団体毎にモニター集団をつくる、消費ターゲット別製品開発、又ライフスタイル、クラスター分析といった手法を展開し、ヒット商品への仕掛けを事前に行い評価することである。

（岐阜県工業技術センター・技術振興部）

出光

の石油化学製品

◎取扱品目 中低圧ポリエチレン
 ポリスチレン ポリプロピレン
 高圧ポリエチレン カルプ®
 ポリカーボネート

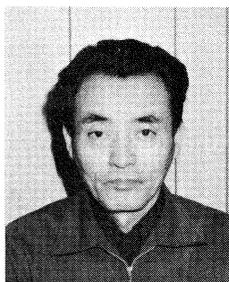


出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
 名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

中型機による部品加工で活路

大幸プラスチック工業



川瀬幸雄社長

今回の組合員訪問は中型インジェクションを揃える大幸プラスチック工業（大垣市静里町875番地、資本金350万円、従業員パート含め25人）を訪ねた。工場は大垣市の

西部、静里を走る中仙道（21号線）沿い。数年前までは田畑が一面に広がっていたというが、今では工場と住宅が混在している。

川瀬さんとプラスチックの出合いは昭和41年まで竹かご製造をしていたのがきっかけ。竹かごの将来性を考えた結果、プラスチック化と取り組むことにした。それまで成形のことは何も知らなかった川瀬さんは思いきって兄の保雄さん（川瀬樹脂代表、安八郡神戸町）と一緒に日精スクールへ行き、技術習得した。

オイルショックで輪之内を閉鎖

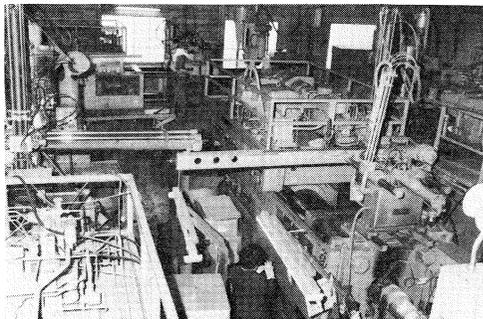
最初の工場は約20坪の倉庫兼工場。ここに3.5オンスの成形機を入れ、鳥の輸送かごや花かごの成形作業を開始した。計量カップやシール容器も成形した。事業は順調に進み、成形機は2台、3台と増え、同時にそれまでの小型成形から中型成形へ転進した。46年2月には株式会社とした。そして昭和48年には輪之内町に1,500坪を買い求め、新工場を建設、稼働させた。

ところが好事魔多しの例えどおり、万事うまくいくとは限らなかった。というのは、操業と

同時にオイルショックに直面、しかも、頼みの親企業からの下請けは途絶えてしまったからである。川瀬さんはやむなく輪之内新工場を閉鎖し、現工場へ成形機を移し、49年9月から新規巻き直しのスタートを切った。

技術力と機械設備で生き抜く

再スタート後は工業部品へ転向、自動車や弱電機器の成形部品を生産した。トヨタ、ホンダ系のフードやモールなど自動車部品、また、弱電部品はソニー、サンヨー、日立、ダイケンのテレビやVTRのパネルやカバー、さらにエアコンや洗たく機など。いずれも中型成形品ばかり。したがって約450坪の現工場（写真）には、三菱ナトコの650トンから400トンにいたる5台もの中型成形機が所狭しと並んでいる。



これらの成形機は自動化を図ったことから生産体制はパート含め3交替のフル操業という。いろいろ取材を終わって川瀬さん最後に「貴重な体験をしたが、中小企業が生き抜くには大企業と対応できる技術力と機械設備が最も大切である。さらにこれからは完成した部品づくり、つまり二次加工を含めた成形作業が行える生産体制づくりと取り組む」と話していた。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□健康保険組合設立へ理解と加入を□

工組を中心にプラスチック業界にも『健康保険組合』をつくり、一層高い保険給付や施設の増設によって健康福祉を増進し、業界の発展につなげようという気運が盛り上がってきました。このため今号は健康保険組合設立特集号とし、組合員の皆さんにご理解を得ることにしました。とくにこの制度は、現行の組合員のご賛同を得るばかりでなく、広く県内プラスチック関係業界の皆さんからもご賛同を得なければ設立認可がもらえない大がかりなものです。どうか工組会員企業の全員加入はもとより、未加入組合員の方々への呼びかけにもご協力ください。

□5月に大阪ジャパンプラへ見学会□

組合の親睦旅行は、3月6～7日の1泊2日の日程で伊勢・志摩観光と鈴鹿・四日市での工場見学を行ってきました。ところが、せっかくの旅行も時期が悪かったせいか参加者が少なく残念でした。次回は5月に大阪で開くジャパンプラ見学会を企画しています。とくに京都で宿泊という特別企画を立てていますので、多数のご参加を期待しています。ジャパンプラ大阪'84は、5月23日から大阪市港区の国際見本

市会で開催され、今回は出品230企業を上回って、前回の東京'82と同規模の見本市が企画されています。ぜひご参加願います。

□信用の決め手は大きな消火器です□

工業組合ではお買い徳商品を発掘し、あつ旋を行っています。今回は『ヤマトABC粉末消火器』で、工場や事務所にぜひお備えください。10型YA-10ER(14,000円)を6,500円であつ旋します。ヤマトは防災のトータルメーカーで、あつ旋商品は、ちょっと大きめの消火器です。しかも、新製品・上抜き式安全栓タイプです。大きな消火器は企業の信用を守ります。工組事務局へご連絡ください。

〈検定のお知らせ〉新年度の射出成形の技能検定受験申込み受付が4月13日～24日まで行われます。希望者は事務局まで。

岐阜県のプラスチック
1984 58号

昭和59年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバドゥール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン **NOVATEC NOVATEC-L**

高圧ポリエチレン



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)



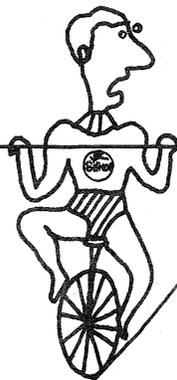
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

信越ポリマー

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

ではの、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業効率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を傷しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。

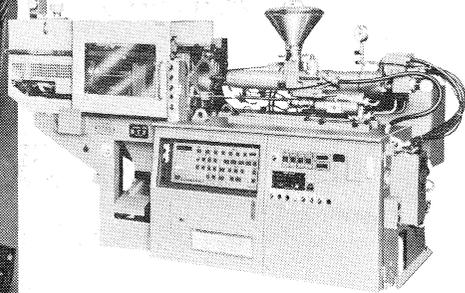
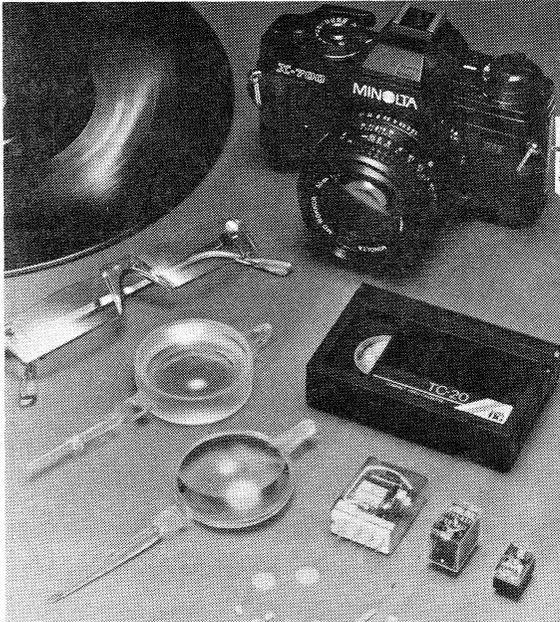


信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店
名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511 (代)

「精密産業機械」の新時代を確立する日精樹脂。
 すでに経営の合理化に組み入れられた射出成形機群。



NISSEI 時代を射る
日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野県坂城町 電話 (02688) 2-3000 (大代表)
 営業所・東京 ☎ (03) 357-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)
 名古屋 ☎ (052) 732-0261 (代表) 長野 ☎ (02688) 2-3000 (代表)
 出張所・全国34ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所(21ヶ国)
 総機出所所・〒500 岐阜県岐阜市西品寺屋敷3-40西ビル ☎ (0582) 72-5952

TOSHIBA 東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11
 名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
 化工機課 TEL <052> 561-8341



秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7
 名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
 TEL <052> 582-5071

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL : 94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をクリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
 大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
 福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(022)166-1525



生きてる素材。
 三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

RISU
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮